

あなたの心に
寄り添い続ける
《感動》が、ここに！

生き抜いた！医師として、夫として、父として——
「心のケア」のパイオニアの半生を描くヒューマンドラマ。待望の映画化！

1995年、阪神・淡路大震災時、自ら被災しながらも、被災者の「心のケア」に奔走した若き精神科医・安克昌氏。本作は、当時の記録を綴った同氏の著書「心の傷を癒すということ 神戸…365日」(第18回サントリー学芸賞受賞)を原案として、NHKでドラマ化された本編を再編集。心のケアの大切さが高まる今、劇場公開となった。

実在の人物をモデルに描く本作の主演・安和隆に扮するのは、高い演技力に定評のある柄本佑。その彼を支え続ける妻・終子役には、海外での受賞歴もあり数々の映画・ドラマで活躍中の尾野真千子。また、和隆の父を石橋凌、母をキムラ緑子、兄を森山直太朗、弟を上川周作が好演。さらに、濱田岳、濱田マリ、近藤正臣と、脇を固める実力派俳優たちが集結した。

STORY 幼少期に自分のルーツが韓国にあると知って以来、自分は何者なのか模索する安和隆(柄本佑)。やがて、人の心に関心を持ち、父(石橋凌)に猛反対されるも精神科医の道を志す。

そんな中、映画館で出会った終子(尾野真千子)と恋に落ちる。精神科医となった和隆は、終子とおだやかな家庭を築いていた。しかし、第一子が誕生してまもなく、大地震が神戸の街を襲う。和隆は避難所で多くの被災者の声に耳を傾け、心の傷に苦しむ人たちに寄り添い続け、「心のケア」に奔走する。

5年後、街は徐々に復興を遂げ、和隆も新しい病院に移り、理想の医療に燃えていたが、ある日、和隆にがんが発覚する——。

本作のモデルとなった

精神科医 **安 克昌 氏**

1960年生まれ。神戸大学附属病院精神科勤務を経て、神戸市西市民病院精神神経科医長を務める。阪神・淡路大震災直後より、全国から集まった精神科ボランティアをコーディネートし、避難所などで診療活動に尽力。

PTSD(心的外傷後ストレス障害)の研究者として治療活動を行うも、2000年12月、39歳で死去。



柄本 佑

尾野真千子 濱田岳 森山直太朗 浅香航大
清水くるみ 上川周作 濱田マリ
谷村美月 趙珉和 内場勝則 平岩紙 / キムラ緑子 石橋凌 近藤正臣

主題歌: 森山直太朗「カク云ウボクモ」(UNIVERSAL MUSIC)
原案: 安克昌「心の傷を癒すということ 神戸…365日」(作品社) 脚本: 桑原 亮子 音楽: 世武裕子
配給: ギャガ GAGA★ 配給協力: 大手広告

gaga.ne.jp/kokoro @gagamovie facebook.com/gagajapan @gagamovie

令和3年

秋の特別上映会

9月3日(金)

京都市北文化会館

地下鉄烏丸線「北大路駅」①番出口

／9月4日(土)

京都市呉竹文化センター

京阪・近鉄「丹波橋駅」西口スグ

《上映時間》両日とも ①10:30 ②14:00 からの2回上映

※それぞれの開演1時間前 ①9:30 ②13:00 に開場いたします。

◎前売券 一般・シニア(60才以上):1,000円(当日券 一般:1,300円 シニア:1,100円)

※小中高生 800円(当日券のみ) 小学生未満 無料

ローソンチケット【Lコード:52645】

※障がいのある方・付添いの方(1名のみ)は1,000円です。(前売・当日共) **51438**

主催/公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団・京都市・京都映画センター

お問合せ/京都映画センター ☎075-256-1707 mail:info@kyoto-eiga.co.jp